

⑨のんびり、ゆったり。諏訪湖を楽しもう！ ～諏訪湖サイクリングロード～

受賞機関 長野県 諏訪建設事務所
岡谷市、諏訪市、長野県下諏訪町

キーワード 自転車利用環境整備、観光資源、健康増進、スポーツ振興、環境

全建賞審査委員会の評価ポイント

健康志向や観光需要の高まりを受け、諏訪湖周約16kmに、岡谷市・諏訪市・下諏訪町・長野県が連携してサイクリングロードを整備。令和6年4月に全線が開通した。県・市町の道路管理者が連携し、民間等も含んだ協議会により検討を重ねた上で整備を行った点が評価された。

1. はじめに

近年の健康志向、環境意識の高まりや観光の移動手段として自転車の利用が注目されている。こうした流れを受け、「観光」、「健康」、「スポーツ」、「環境」の4つの観点で、民間や観光関連部局との連携により、豊富な観光資源が立地する諏訪湖周約16kmに、岡谷市・諏訪市・下諏訪町及び長野県が諏訪湖を周遊するサイクリングロードを設置し、令和6年4月に全線開通となった。



全線開通記念式典（令和6年4月20日）

2. 事業の概要

長野県諏訪地域を代表する観光地のひとつ「諏訪湖」における歩行者空間の整備の歴史は古く、ジョギングロード整備事業は、昭和61年に着手し、平成2年に完成した。

一方、近年は地域住民や観光客がウォーキング、ジョギング、サイクリング、水上スポーツなど多様なアクティビティを楽しむようになった。しかし、健康志向、環境意識の高まりや観光の移動手段として自転車を利用する傾向が高まる中、日常的に交通量が多く、観光客でにぎわう諏訪湖周辺では、自転車が安全で快適に通行できる道路空間が不足していた。

そこで、2市1町及び長野県が連携し、諏訪湖周辺の自転車利用者と歩行者が安全で快適に共存できる自転車利用環境の創出を目的に、平成30年から諏訪湖畔を一周するサイクリングロードの整備に着手した。

事業の実施に当たっては、施設の統一的な整備、持続可能な維持管理や観光振興などの地域振興に寄与する仕組みとして、諏訪湖周辺の各道路管理者、警察、民間や学識者を交えた協議会（諏訪湖周自転車活用推進協議会）を設置し、情報共有と連携を図った。

協議会では、車止め・ルートサインの設置や路面標示などの施設の統一を図るとともに、幅広い年齢層、様々なアクティビティを楽しむ人が安全に利用できるように、施設のコンセプトや交通ルールの周知・啓発など、ソフト面の取組も検討した。

3. 事業の成果

サイクリングロードの完成により、諏訪湖周に自転車が安全に走行できる環境が整備された。これを機に、自動車利用者の一部が交通手段を自転車に転換することが予想され、環境に対する負荷の軽減や交通渋滞の緩和が期待されるとともに、利用者自身の健康増進につながると考えている。

また、子どもからお年寄りまで、すべての自転車利用者が景色をゆっくりと眺めながら安全に走行できるようになったこと、県内外から諏訪湖周に訪れる多くの人が周辺の観光資源に目を向ける時間が増えることで、観光客の増加や地域のにぎわいの創出も期待できる。



諏訪湖周サイクリングロードのパンフレット

4. おわりに

全線開通により、諏訪湖周3市町を結ぶ移動が円滑となり、諏訪湖が持つ自然環境・景観や河川空間の開放感と相まって、更なる地域のにぎわい創出につながることを期待している。